

第9期定時株主総会議事録（概要）

2019年6月21日

第一生命ホールディングス株式会社

第9期定時株主総会議事録

1. 日時 2019年6月21日（金曜日） 午後1時30分
1. 場所 東京都港区台場二丁目6番1号
グランドニッコー東京 台場
地下1階 パレロワイヤル
1. 議決権を行使することができる株主数
760,629名
1. 議決権を行使することができる株主の議決権の数
11,496,908個
1. 出席株主数（議決権行使書及び電磁的方法により議決権を行使した株主を含み、無効分を除く最低有効数による。）
162,419名
1. 出席株主の有する議決権の数（議決権行使書及び電磁的方法による議決権行使を含み、無効分を除く最低有効数による。）
8,902,386個
1. 株主総会の目的事項
報告事項 2018年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）
事業報告、連結計算書類、計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件

決議事項
第1号議案 剰余金の処分の件
第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）11名選任の件

1. 議事の経過の要領及びその結果

(1) 定刻、代表取締役社長稲垣精二は、定款の規定に基づき議長となり、開会を宣した。

次に議長は、本総会の目的事項は、別添招集ご通知 6 頁に記載のとおりである旨を述べた。

次に議長は、本総会の議案についてはすべて定足数の要件を満たしており、適法に決議できる旨を述べた。

次に議長は、議事の進め方について、株主の発言は報告事項の報告及び決議事項である各議案の内容説明後に受けた旨を述べ、これを議場に諮ったところ、過半数の賛同が得られた。

(2) 議長は、報告事項の報告及び議案の審議に入る前に、連結計算書類の監査結果も含めて監査等委員会の監査報告を求め、取締役(上席常勤監査等委員)長濱守信が、監査等委員会を代表して、2018 年度に係る監査等委員会の監査の方法及び結果は、別添招集ご通知 57 頁及び 58 頁(監査等委員会の監査報告書謄本)に記載のとおりである旨を報告した。

次に取締役(上席常勤監査等委員)長濱守信は、会計に関する業務について、別添招集ご通知 55 頁及び 56 頁の連結計算書類等に関する会計監査人の監査の方法及び結果が相当である旨、会計以外の業務について、法令・定款に適合している旨、本総会に提出される議案及び書類について、いずれも法令・定款に適合している旨を報告した。

次に取締役(上席常勤監査等委員)長濱守信は、別添招集ご通知 12 頁に記載のとおり、監査等委員以外の取締役の選任及びその報酬について、監査等委員会としてはいずれも妥当であると判断している旨を述べた。

(3) 議長は、本総会の目的事項に従い報告事項の報告を行う旨を述べ、別添招集ご通知 29 頁から 50 頁に記載の 2018 年度(2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで)事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容につき、中期経営計画「CONNECT 2020」初年度の振り返りや今後の展望等を中心に、映像も交えながら説明した。

(4) 議長は、決議事項である第 1 号議案及び第 2 号議案の各議案を一括して上程する旨を述べ、各議案の説明を以下のとおり行った。

- ・ 第 1 号議案「剰余金の処分の件」

議長は、別添招集ご通知 9 頁に記載の内容を説明した。

- ・ 第 2 号議案「取締役(監査等委員である取締役を除く。) 11 名選任の件」

議長は、別添招集ご通知 11 頁から 23 頁に記載の内容を説明した。

(5) 議長は、質問及び動議を含めたすべての発言を一括して受け、その後議案

につき採決を行う旨を説明した後に、株主からの発言を受ける旨を告げたところ、別紙のとおり、質疑応答等がなされた。

- (6) 議長は、既に十分に審議を尽くしたと考えるため、これで質疑を終了し、議案の採決に入りたい旨を議場に諮ったところ、過半数の賛同が得られたので、議案の採決に入る旨を告げた。

まず議長は、第1号議案「剰余金の処分の件」について、賛否を議場に諮ったところ、議決権行使書及び電磁的方法による議決権行使を含め出席株主の議決権の過半数の賛成を得たため、原案どおり承認可決された。

よって議長は、第1号議案は原案どおり承認可決された旨を宣した。

次に議長は、第2号議案「取締役（監査等委員である取締役を除く。）11名選任の件」について、賛否を議場に諮ったところ、議決権行使書及び電磁的方法による議決権行使を含め出席株主の議決権の過半数の賛成を得たため、原案どおり承認可決された。

よって議長は、第2号議案は原案どおり承認可決された旨を宣した。

- (7) 議長は、以上をもって本総会の目的事項はすべて終了した旨を告げて、午後3時21分、本総会の閉会を宣した。

1. 株主総会に出席した役員

代表取締役会長	渡邊 光一郎
議長 代表取締役社長	稲垣 精二
代表取締役副会長執行役員	露木 繁夫
代表取締役副社長執行役員	堤 悟
取締役専務執行役員	石井 一真
取締役常務執行役員	武富 正夫
取締役	寺本 秀雄
取締役	ジョージ・オルコット
取締役	前田 幸一
取締役	井上 由里子
取締役（上席常勤監査等委員）	長濱 守信
取締役（常勤監査等委員）	近藤 総一
取締役（監査等委員）	佐藤 りえ子
取締役（監査等委員）	朱 殷 卿
取締役（監査等委員）	増田 宏一

(注) ジョージ・オルコット氏の在留カード上の氏名は「OLCOTT GEORGE CUNNINGHAM」、佐藤りえ子氏の戸籍上の氏名は「鎌田りえ子」、朱殷卿氏の戸籍上の氏名は「朱ウンギョン」。

1. 議事録の作成に係る職務を行った取締役

代表取締役社長 稲垣 精二

上記の議事を証するため、会社法第318条に基づき本議事録を作成する。

2019年6月21日

東京都千代田区有楽町一丁目13番1号
第一生命ホールディングス株式会社
代表取締役社長 稲垣 精二

質問要旨は次のとおり。

質問要旨
株主 1 ①海外進出先への投資における為替リスクの影響 ②株主総会の会場選定の方法やお土産廃止に対する考え
株主 2 ③研究開発活動の金額 ④働き方改革における時間外労働に対する考えや取組み
株主 3 ⑤契約者貸付金利が市中金利と比較して高い理由
株主 4 ⑥生命保険料控除に対する政府への働きかけ
株主 5 ⑦健康寿命の延伸に向けた契約者向けの取組み ⑧ソルベンシー・マージン比率は D/E レシオと同じようなものか
株主 6 ⑨少額短期保険が業績に与える影響と今後の参入の有無 ⑩女性役員登用の考え方
株主 7 ⑪収入保険料が増えている一方で修正利益が減っている要因 ⑫新規ビジネスへの取組みに対する考え
株主 8 ⑬取締役の不正に対する監督状況や体制 ⑭年金等に対する当社の戦略
株主 9 ⑮健康支援に向けた事業の展開 ⑯健康診断割引の仕組みと割引のエビデンスについて
株主 10 ⑰株式会社化の目的とその成果 ⑱シニア人財の活躍推進の取組み
株主 11 ⑲健康経営を行う当社の役員が日本たばこ産業株式会社の社外取締役に就任している理由
株主 12 ⑳一生涯のパートナーとしての顧客本位の取組み
株主 13 ㉑東京オリンピック・パラリンピックが開催されるにあたっての具体的な取組み

以上